

会議録

| | |
|---|---------------------------|
| 会議の名称 | 令和2年度 第2回加西市総合政策審議会 |
| 開催日時 | 令和2年7月17日（金）午後2時00分～4時00分 |
| 開催場所 | 加西市健康福祉会館（ラヴィかさい）2階研修室 |
| <p>議長の氏名（会長 杉山 武志）</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>＜出席委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田尾 真 ・大野 聖佳 ・岡 和司 ・木下 勇 ・久米澤 稔 ・後藤 直樹 ・杉山 武志 ・谷勝 公代 ・辻田 聡信 ・仁科 崇良 ・濱本 泰秀 ・松岡 勝己 ・高見 千里 <p>＜欠席委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸本 達希 ・中野 重美 | |
| <p>傍聴者の人数</p> <p>一般：2名 報道機関：なし</p> | |
| <p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと創造部長 千石 剛 ・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 後藤 伸嘉 ・ふるさと創造部人口増政策課係長 森山 俊幸 ・ふるさと創造部人口増政策課係長 岩野 裕之 ・ふるさと創造部人口増政策課主事 大西 弘晃 ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり推進員 小山 映 ・市担当者（説明員） 6名 | |
| <p>1 議事</p> <p>(1) 第5次加西市総合計画における令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括</p> <p>2 会議資料</p> <p>会議次第、出席者名簿、配席図</p> <p>資料1</p> <p>第5次加西市総合計画の「施策評価一覧」及び「評価シート」一式</p> <p>資料10～11（再配布）</p> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第2回加西市総合政策審議会の経過」のとおり</p> | |

(別紙) 第2回加西市総合政策審議会の経過

| 発言者 | 会議の経過 / 発言内容 |
|----------------------------------|---|
| <p>会長</p> | <p style="text-align: center;">開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回審議会から日が浅い中のご参集にお礼申し上げます。 ・今回は現行の総合計画に基づく評価がメインである。後ほど事務局から詳細説明があるが、次期総合計画に向けてこれまでの課題点、今後の方向性についての皆様からのご意見・ご提案等をいただきたい。 ・例年同様短い期間で各部会に分かれての審議となるが、各部会長の下、円滑にご審議いただきたい。 <p>2 委員等出席者の紹介</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第1回部会 外部評価の進め方 (事務局から説明)</p> |
| <p>会長 委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明についてご意見・ご質問はあるか。 ・評価にはS・A・B・C・Dがある。100%を上回らなければ目標達成でないと認識しているが、90%~100%で目標達成となっている。文章を読む限り未達成といえるがどちらの基準でいくのか。 |
| <p>事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・資料1の表に評価の目安を掲載しており、KPIの単年度の平均が130以上はSに相当するとしている。しかしKPIの達成と施策の目標の達成度は必ずしも一致するわけではなく、例えばKPIは未達成だが他の取り組みにより数値が上がることもある。逆にKPIが高くて目標に対して効果のない場合は評価が下がると考えている。部会で説明員の説明を聞いたうえ、施策の評価をしていただきたい。 |
| <p>委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成の場合、達成としないのか確認したい。我々の世界では99%は未達成である。その基準はどうするのか。90~110までとは、合格点が90なのか。本来目標達成とは100を基準とするものである。 |
| <p>事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・これまで90%でも達成として評価してきた場合がある。今年度もこの表の数値で評価していただきたい。 |
| <p>委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は内部でどのように決めたのか。 ・会社では管理者が線表を見ながら目標値を満たしていたのかヒヤリングし、双方、納得の上で次のステップに繋げていく。 ・目標に対する成果の有無は一般市民の立場ではわからない。手がかりは資料のみである。評価は感覚でしかないが、内容もわからず感覚だけで評価するのは職員に失礼ではないか。 |
| <p>会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも制度設計の問題で、行政機関の総合計画・総合戦略の評価はこのように行うものなので致し方ないところがある。 ・目標達成の考え方も民間と行政とで評価の設定基準が異なる。民間企業では数値は絶対的なものだが、行政では個別具体の部分も評価する独特の形である。第三者委員会としてはこれに慣れていくしかない。 |
| <p>委員 会長 事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・それでいいなら構わない。その方法なら真ん中を中心に高いものや低いものについて感覚的に評価してはどうか。全部を評価するのは難しい。 ・住民サービスはどこかで感情的なものがあり、その斟酌は必要である。全てを理性的に評価できない部分もありやむを得ない。 ・昨年までは市民会議として住民の感覚でのご意見を伺ってきたが、感覚に沿って評価していただかざるを得ないとする。 ・第5次加西市総合計画評価シートは216ページある。それぞれ1つ1つの事業を各担当課で評価しており非常にボリュームがあるので施策ごとにまとめて1枚にしたのが一覧表である。わかりにくいとのご指摘はもっともである。 ・内部評価したものもご参考の上、さらに足りないものがある等、素朴なご意見やご疑問を出していただくとともに、内部評価したものについて感覚的な評価もいただきたい。忌憚のないご意見をお願いする。 |
| <p>委員 事務局 委員 事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・内部評価は誰が行ったのか。 ・KPIの達成状況やその背景にある未達成の理由等も含めて各担当課が行った。 ・マネージャーが行ったものではないのか。 ・担当課長は目を通して前提なので、マネージャーが行ったといえるものである。 |

| | |
|--|--|
| <p>委員 事務局</p> <p>会長 委員 事務局</p> <p>委員 事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・とてもボリュームがあり10分では足りないが、我々は内部評価をまとめた総合評価について疑問や追加の意見を述べるイメージでいいのか。 ・1つ1つ紐解いていくには10分では短いのので、216ページ分を施策ごとにまとめている。 ・施策評価というよりは、政策評価といえるものである。 ・評価した結果はどのような形で使われるのか。 ・翌年度の事業実施にあたっての資料としているほか、ホームページ上で公表し一般の方に見ていただけるようにしている。 ・評価が低いものには、てこ入れするのか。 ・各担当課は評価の低いものについて力をいれていくことになる。 <p>(2) 第1回部会 外部評価(2次評価)の実施 3部会に分かれて検討 総合計画施策評価一覧の審議会による外部評価(2次評価)の欄の記載内容参照 ※別途後日、第3回会議の議論と合わせて公表予定</p> |
| <p>副会長</p> | <p style="text-align: center;">閉 会</p> <p><副会長あいさつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お忙しい中、熱心にご議論いただきお礼申し上げます。中身が非常に多くどこの部会も後半は時間が足りなかったのではないかと。 ・次回は資料をよく読みこんで来ていただき、ポイントを話し合っていたきたい。 ・説明側も簡潔なPRを心がけ、前向きに議論していただきたい。 ・この議論は総合計画の次の組み立てにとって大事な作業となるため、今後ともご協力をお願いする。 |